

キャラクター名
科笠純大

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ キュマイラ		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	16	性別	♂
覚醒	憤怒	衝動	破壊	初期侵食率	33 %	
出自	安定した家庭	経験	親友	邂逅	運命の分岐点	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	34
肉体	5	1	0			6	行動値	8
感覚	1	0	2			3	(非装備時)	8
精神	1	0	1			2	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	2		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
変ッ身!		0				侵蝕値9。獣化+一角
オレのもふもふで痺れる!	白兵	9r	2	8		侵蝕値7。↑+牙+スタン+コンセ
オレのもふもふで痺れる!@60	白兵	10r	2	8		
オレのもふもふで痺れる!@80	白兵	11r	2	8		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 野獣本能	P	N		
親友	P 友情	N 嫉妬		
両親	P 幸福感	N 嫌気		
シナリオロイス: 綾瀬真花	P 慕情	N 不安		
九重さん	P 同情	N 不安		
東雲先輩	P 友情	N 不安		
要さん	P 尊敬	N 不安		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値を-LV								
竜鱗	1	3	リアクション	至近	自身	自動	-	
効果: 組み合わせ不可。攻撃が命中する代わりに装甲値+[LV×10]								
一角鬼	3	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 素手データ変更。攻撃+[LV+5]、ガード値2、射程5m								
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: シーン中【肉体】のダイス+[LV+2]								
雷の牙	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 組み合わせた攻撃に対するドッジダイス-LV個								
スタンボルト	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 組み合わせた攻撃で対象にダメージを与えた場合、放心を与える。								
至上の毛並み	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: ふっ、オレのこのもふもふに……触るがいい……(諷)								
シークレットポケット	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: ああ、それならこの毛の中に……あれっこだ								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

しなのじゅんた
 新人オーヴァード。になる予定。
 バスケやってるそれなりに熱血体育会系男子。もしかしたらまだ成長期が続いているかもしれない。

いたって平凡な、極々普通の生活を送る高校生。
 家族仲は良いが所謂反抗期というやつで、最近少し言葉が悪くなったり無視したり謝ったりミスド買って帰ったりしている。
 クラスメイトの女の子に、昔飼っていた猫の姿を重ねて懐かしむような、その猫が死んでしまったことでクラスメイトに対しても不安を感じるような、ちょっと妄想がいきまぎえているところもある。
 小学校高学年から中学までずっとつるんでいた、気の合う親友がいる。と思いついて入っている。果たしてアレは一体誰だったのか……
 部活ばかりやってるが一応週一でそこそこ稼げるバイトをしている。
 バイト先は誰にも言えない、と言い張っている。(多分ヤーさん絡みのお子さんの家庭教師とか)
 そんないたって平凡な高校生である。

オレ/お前とかあんとか。先輩たちには多分名字+さん付け。
 キュマイラの完全獣化でもっもふもふな羊になる。所謂電気羊。
 男の子らしくカッコイイものに憧れがあるので、自分ももっともこになってしまったことに少なからず衝撃を受けることとなる。
 「は?キュマイラって、そんな、カッコイイ奴がデフォルトなのかよ……」